

# カトリック河原町教会だより

2013年10月

## 敬老感謝ミサ 懇親会

9月15日(日)10時半から敬老感謝ミサが溝部脩司教様の司式により行われ、75歳以上の101名が、信徒の皆さんとともに感謝の祈りをささげました。

ミサ後、地下のヴィリオンホールで懇親会があり、56名が参加しました。会食、歓談、江藤美津子さんのギター演奏などで和やかなひとときを過ごしました。



ギター演奏を楽しむ

## 第34回京都南部 ウォーカソン

11月4日(月・祝)

受付開始 午前8時45分  
開会式 午前9時30分  
スタート 午前10時  
終了 午後2時30分  
開会式・スタート・ゴール  
カトリック河原町教会

主催 京都南部ウォーカソン  
実行委員会  
連絡先 カトリック河原町教会  
075-231-4785

## ウォーカソン スポンサー(献金)のお願い

各学校、教会で参加者、スポンサー、運営スタッフの募集が始まっています。河原町教会でも行っています。ご協力をお願いします。

スポンサーの皆様にご協力いただいたスポンサー献金は、東日本大震災復興支援(大船渡)京都サポートセンターとノートルダム教育修道女会のネパール国バンディプール村での教育支援活動に送られます。



バンディプール村の子どもたち

## ロザリオの祈り

ロザリオの祈りは12世紀に生まれたとされ、祈りの形を整えながら、愛し守られて、幾世紀にもわたって教会に受け継がれてきました。1571年、教皇ピオ5世によって10月7日がロザリオの聖母の記念日に制定され、ロザリオの祈りはさらに全教会的なものへと高められました。

また、2002年10月、教皇ヨハネ・パウロ2世は使徒的書簡「おとめマリアのロザリオ」を発表し、ロザリオの祈りをキリスト教的祈りの中で最も優れたものとして、その祈りの実践を強く勧められました。同時に、それまでの「喜び・苦しみ・栄え」の3つの神秘に、新たに「光の神秘」(啓示の神秘)を加えられました。

わたしたちにとってロザリオを唱えることは、イエスに最も近かったマリアのまなざしを通して、マリアの心とともに、キリストの生涯におけるさまざまな場



面を「思い起こし」「黙想する」ことであると言えます。

教皇ヨハネ・パウロ2世はその書簡の中で「マリアに伴われながら、たえずキリストのみ顔を黙想するロザリオという霊的道行において……わたしたちは自然にキリストの生涯へと導かれ、その思いを『呼吸する』ようにまでなるのです」と記し、わたしたちにロザリオの祈りの神秘性を指し示しています。

10月はロザリオの月です。どのような時もキリストに全面的に従われたマリアの取り次ぎにより、自らの重荷をすべて主にゆだね、共に祈りましょう。

「ロザリオほど、イエスの生涯とマリアの生涯が深くひとつに結ばれているものはありません。マリアはキリストのうちにのみ、そしてキリストのためにのみ生きたからです」(教皇ヨハネ・パウロ2世)。



## 2013年ワールドユースデー リオデジャネイロ大会に参加して 平野 有紀

2013年ワールドユースデー(以下WYD)の世界大会が、7月23日から28日まで、ブラジルのリオデジャネイロで開催されました。日本からは3人の司教様を含め62人が参加。世界中から集まった約300万人の若者に、教皇フランシスコは現地でのミサの説教の中で、「力を合わせ、国境を超えて宣教するよう」呼びかけられました。

河原町教会から参加した平野有紀さんに、その体験を報告してもらいました。

## ■WYD 世界大会の印象は

南半球のブラジルは、日本の裏側で季節も逆。朝と夜は冷え込んだり、乾季には珍しい雨天が続いたりしましたが、そんな寒さも吹き飛ばすほどあたたかい歓迎を受けました。そして、教会という大きな家の中で、世界各国から集まった青年たちと、国境を超えて一つになる体験を得られました。

大会のメイン会場となったコパカバーナ・ビーチは、来る日も来る日も青年たちで埋め尽くされ、大会を締めくくる派遣ミサの前夜は、各国の巡礼団とともに野宿をしました。教皇様は私たちに、「あなたがたの力が必要です」と語られました。皆で同じ声に耳を傾け、同じ祈りの時を過ごした感



お世話になった日系シスター。右が平野さん  
動は、とても言葉では言い表せません。

大会前はサンパウロの修道院、大会中はリオの教会や信徒さんのお宅などに泊めていただきました。サンパウロでは1世から5世までの日系の方々とお会いしましたが、遠い地の友として歓迎されたことにとても驚きました。号泣して喜ばれる一幕もあり、日本から最も遠い国が、ぐっと身近な存在に感じられました。

## ■日本巡礼団の様子は

浜口司教様(大分)、郡山司教様(鹿児島)、松浦司教様(大阪)と国際色豊かな聖職者の皆さんや事務局の方々が、私たち40人の青年とともに過ごしてくださいました。カテケーシスやさまざまな祈り、仲間との分かち合いを通して、キリストの弟子であることについて深く考えることができました。

## ■青年たちの明日

私は今、焦りを感じています。「若者に宣教するのは若者」という教皇様からのメッセージが、私の耳から離れません。同世代の青年たちと、信仰について考え、語らい、祈り、多くのことを学びました。たとえ言葉が通じなくても、私たちは手を取り合って同じ道を歩むことができます。信仰を生きる喜びや力など、たくさんのお恵みをいただいた巡礼を終えた今、私はこれからのことを考えずにはいられません。まずはこの体験を多くの方に、とりわけ未来の青年たちに伝えることから始めようと思います。

最後になりましたが、河原町教会の皆さんのあたたかいご支援に感謝しています。ありがとうございました。



リオの教会でのアニメーション



若者で埋め尽くされたコパカバーナ・ビーチ

## World Youth Day(WYD)の始まり

国連が1985年を「世界青年の年」と定めたことに合わせて、当時の教皇ヨハネ・パウロ2世が1984年の「あがないの特別聖年」の閉会ミサで、「受難の主日(枝の主日)」にローマに集まるよう、青年たちに呼びかけたことが始まりです。それ以降毎年「受難の主日」が「世界青年の日」と定められ、地域レベル、教区レベルで祝われています。そして2~3年に1度、世界各地の持ち回りで、WYDの世界大会が開催されています。(WYDハンドブックより)

次の世界大会は2016年、ポーランドのクラクフでの開催が予定されています。

## □行事計画

四頁行事予定に記載。

## □協議事項

①クリスマス市民の集いのポスターデザインの検討と決定。

②部会活動案内の検討。各部の活動内容を実際の活動内容に沿ったものに修正し河原町教会の信徒の部会再登録を行う。名義だけでなく、実質活動のできる人に登録してもらう。

③部会活動掲示板の設置。会館入口の柱に各部会の案内を掲示する。

④初めて教会にいられた方に対して、信徒は皆あたたかく対応する。困っている人には誰もが積極的に声をかけてサポートする。ミサ典の理解のために、ミサ典礼解説書キリストと我等のミサを三十冊、主日のミサ時に聖堂入口の机に設置し、貸し出す。また、聖堂入口と受付に初めて来られた方の案内表示板を掲示する。

⑤聖堂後方の新献金箱周辺の資料置き場が乱雑。整理整頓する。(典礼部)

## □その他

①山科教会創立六十周年記念ミサが十月六日(日)九時半から行われる。

②十二月一日(日)十時半ミサで溝部脩司教様の霊名(フランシスコ・サビエル)の祝日のお祝いをする。

③河原町通りに面した名言葉の掲示板の中にも、クリスマス馬小屋を飾ることとする。

④河原町教会の巡礼団の訪問を受けた場合は、地下の小聖堂(都の聖母)を案内する。

⑤大日山墓地の管理については今後、個人管理の方向で進める。



## 洛東ブロックの施設紹介 聖ドミニコ学院京都幼稚園



安達園長

聖ドミニコ学院京都幼稚園のシスター安達徐(しずか)園長にお話を伺いました。

聖ドミニコ幼稚園は聖ドミニコ女子修道会を母体として1958年に開園し、56年目になります。仙台と東京に幼稚園や小学校、中学校、高等学校の姉妹校があります。

### ■聖ドミニコ学院京都幼稚園の環境

この幼稚園は鴨川に面し、京都御苑や糺の森が近くにあり、豊かな自然に恵まれています。春夏秋冬、四季折々の自然が織りなす営みに触れながら子どもたちは育っています。区民の誇りの木に指定されたエノキの大木が園庭に爽やかな木陰をつくり、未



七五三のお祝い

就園児やお母さんたちの憩いの場になっています。

また、聖ドミニコ女子修道院に隣接し、シスターたちの神さまのお話や保育補助、シスターの指導による保護者のロザリオの祈りで、子どもたちの安全と成長を支えています。

### ■教育目標

「あかるく、つよく、ただしく」

あかるく…神様と両親や先生、接する

人々に愛されていることを実感できる子ども

つよく…譲る心、許す心を持ち、奉仕できる子ども

ただしく…見えないものを大切にできる子ども。表面だけで人や物事を

判断しない洞察力を持つ子ども

### ■保育の特色

1)心の教育…園生活の中で「祈り」という静かな時間を持ち、また「神さまのお話」に親しみ、小さい時か



朝顔の花が咲きました

ら自分を大切にし、他人をもいたわる心を育みます。

2)縦割り保育…モンテッソーリの教育方法も取り入れ、一つのクラスの中に異年齢(3歳、4歳、5歳)の子どもが一緒にいる縦割り保育です。

3)発達プロセスの尊重…子どもたちが自由に選択して活動できるよう、先生方は

教材、教具を準備し、時間をかけて、発達段階を考慮し

た関わりを大切にしています。

4)体操教室…子どもは運動が大好きです。週1回、体操教育を実施して

います。

5)国際性…小さい時から自然に英語に親しみ、世界の人々が友達であることを体験できるように、保育の中に英語を取り入れています。



線上歩き



左の建物が聖ドミニコ女子修道会 右の建物が幼稚園

### 聖ドミニコ学院京都幼稚園

住所:〒602-0841 京都市上京区  
河原町通今出川下ル梶井町448

電話:075-256-2128

ホームページ: <http://dominic.or.jp>

河原町教会九月評議会報告要約  
開催日時 九月一日(日)  
十二時〜午後二時二十分

### □司祭団の報告

①十二月七日(土)にバレット商店街の街路樹イルミネーションの点灯式が行われます。この点灯式に聖歌隊の協力要請を受けています。

②修築特別献金が目標の約半分は達しました。皆さんの協力で感謝します。

③地下へのリフトを修復不能のため撤去。

④京都教区の司祭懇話会が十月七日(月)から十一日(金)に行われます。

### □各部報告

典礼部 ①パイプオルガン管理規定承認。

②聖堂音響装置の点検と改善を実施。

財務部 十一月四日のウォーカーソンの協力要請を受けている。

施設管理部 ①聖堂地下の教会財産管理データの作成は九月末までに完了予定。

②新献金箱設置完了。

広報部 ①教会案内リーフレット見直し。

②部会用掲示板の検討。③教会に初めて来られた方のための案内、ベルの検討。

④イクトゥスの保管用の製本と余分な冊子の処分を行う。⑤集会室に置いてある

他教会の教会報の保存期間は一年とし、一年経過したものは廃棄する。

教育部 ①土曜学校錬成会、中高生の広島巡礼六名、高校生の大船渡ボラティ

ア(三名)はそれぞれ良い成果を得た。②

ザヒル訪れ会は、敬老感謝ミサの案内業

書の返信状況から新しく訪問計画を作成

する。③キリシタン研究会主催、十月二

十九日エト高山右近列福祈願金沢市内

右近関連史跡巡礼ツアーを行う。

ハ



## ●2013年10月～12月の行事予定●

(11月、12月は予定です。変更の場合もあります。)

祝・記念日		行事予定
10/6	日	評議会 10月例会 ロザリオの祈り 10月毎日曜 10時
10/7	月	～11日(金) 教区司祭懇話会
10/13	日	衣笠墓苑清掃
10/20	日	大日山墓地清掃
10/26	土	洛東ブロック会議 伏見教会
10/29	火	金沢市内高山右近関連史跡巡礼ツアー
11/1	金	諸聖人の祭日
11/2	土	死者の日 合同追悼ミサ 午後6時半
11/3	日	教区合同墓参 衣笠教会追悼ミサ 午後2時 / 大日山墓地墓参
11/4	月	振替休日 第34回京都南部ウォーカーズ
11/9	土	評議会 11月例会午後2時
11/10	日	七五三お祝い 10時半ミサ
11/30	土	2014年度教会役員選挙投票日※(下記参照)
12/1	日	2014年度教会役員選挙投票日※ / 評議会 12月例会 溝部脩司教様霊名のお祝い 10時半ミサ
12/15	日	クリスマスチャリティコンサート 午後3時
12/21	土	待降節懇話会
12/22	日	教会美化デー
12/24	火	クリスマス市民の集い 午後6時半 主の降誕夜半ミサ 午後9時
12/25	水	主の降誕 ミサ 7時 10時半

※ 2014年度教会役員投票日は暫定予定です。確定次第、確定日をお知らせします。

## お知らせ

- ◇エレベーター設置、会館配水管工事修築特別献金は9月15日現在11,829,820円のご協力をいただき、目標額2,000万円の半分を超えました。目標達成まで引き続きご協力をお願いします。
- ◇聖堂内に新しい献金箱が設置されています。維持費、献金にご利用下さい。



## 《ユスト高山右近列福祈願 金沢市内右近関連史跡巡礼ツアー》

2013年10月29日(火) 集合 8時15分 御池通 信愛幼稚園前  
参加費(昼食、飲み物代ほか含む) 10,000円  
主催 カトリック河原町教会教育部キリシタン研究会  
申込 (TEL/FAX) 菊井 075-702-3340 李家(りのいえ)075-591-3929

## 河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)  
7:00  
10:30  
12:00 (英語)  
月曜日 6:30  
火曜日 6:30 18:30  
水曜日 6:30 18:30  
木曜日 6:30  
金曜日 6:30 18:30  
土曜日 6:30  
18:30 (主日のミサ)

## 信仰の学び

どなたでも自由に、途中からでも参加できます。直接会場にお越しください。

## ◆信仰入門講座◆

(1F 集会室または3F 応接室)

火曜日 10:00 花井拓夫神父 (1F)  
19:15 一場修神父 (1F)  
水曜日 10:00 村上眞理雄神父 (1F)  
19:00 花井拓夫神父 (3F)  
木曜日 15:00 花井拓夫神父 (3F)  
金曜日 15:00 シスター藤田智子 (3F)  
19:15 村上透磨神父 (1F)

◇鶴山進栄神父の個人講座が行われています。ご希望の方は教会事務室にご相談ください。

## ◆信徒養成講座◆

(1F 集会室)

北村善朗神父「秘跡を学ぶ」

10月3日(木) 14:00

10月31日(木) 14:00

12月19日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

## ◆聖書通読会◆

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30～16:00

旧約聖書の創世記から始めて、新約聖書の黙示録まで、グループで輪読しながら全巻を読む集いです。(主催:教育部)

カトリック河原町教会だより 2013.10

発行:カトリック河原町教会 担当司祭:花井拓夫

住所:〒604-8006 京都市中京区河原町通三条上る下丸屋町423

電話:075-231-4785 ファックス:075-211-8021

編集:河原町教会広報部

E-mail:kyoukaidayori@yahoo.co.jp

ホームページ:http://kawaramachi3.com/